

出版平和堂 第55回 出版功労者顕彰会 開催



会長あいさし

日本出版クラブ会長 野間省伸

(のま・よしのぶ)

「出版平和堂 第55回 出版功労者顕彰会」が、10月25日(水)正午より、箱根芦ノ湖畔の出版平和堂で開催され、関係者約100名が参集した。

進行は吉野和浩・出版平和堂委員で、富士山が顔をのぞかせる穏やかな天候のなか、式典が野間省伸・日本出版クラブ会長のあいさつで開会した。

出版平和堂に顕彰されている方々への黙祷がおこなわれ、小野寺優・日本書籍出版協会理事長による11名の新顕彰者名が奉告された。続いて、矢幡秀治・日本書店商業組合連合会会長による献詞が捧げられ、参会者全員による献花が執りおこなわれたのち、堀内丸恵・日本雑誌協会理事長による感謝のことが述べられた。

新顕彰者ご家族・ご関係者と役員による記念撮影がおこなわれたあと、会場を箱根ホテルに移し、奥村景二・日本出版取次協会副会長の献杯の発声により、和やかな雰囲気の中、昼食懇親会が催された。

本日は、出版平和堂第五十五回出版功労者顕彰会にご出席いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

昨年は残念ながら豪雨のため、この出版平和堂での顕彰会開催を中止せざるをえませんでした。今年には天候に恵まれて、こうして開催できることを大変うれしく思います。この場所での開催は四年ぶりとなります。

出版平和堂は、我が国の出版界の繁栄を築き、出版文化の発展にご尽力いただいた方々を顕彰し、その功績を讃えるとともに、出版を通して、平和な社会を将来にわたって守り続けることを誓う、出版界にとって重要な記念碑です。

第五十五回を迎えた出版功労者顕彰会に、新たに十一名の出版功労者が加わります。明治以来、一三三名の方々のお名前が銘板に刻まれ、皆様の心に深く、永くともめられることと存じます。

最後になりましたが、日頃より出版平和堂へのご協力をいただいている箱根町行政の皆様はじめ、協力団体、関係者の皆様によりお礼申し上げます。ご理解とご協力をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



出版クラブ会報 No.620

主な記事

- ▽出版平和堂 第55回 出版功労者顕彰会 開催……………1～4
(挨拶) 野間 省伸、小野寺 優、矢幡 秀治、堀内 丸恵、奥村 景二、大坪 嘉春
- ▽2023年度出版平和堂維持会にご協賛いただいた方々……………5
- ▽小さな本の展覧会17「男らしさ」「女らしさ」から自由になる言葉「ジェンダー」を知るはじめての一步……………六～七
- ▽〈出版歳時記〉公正で自由な競争のために……………八

BOOK MEETS NEXT

2023.11.23まで

期間中、全国の書店でイベント開催!



新頭彰者名奉告

日本書籍出版協会理事長

小野寺 優

(おののでら・まさる)

〈版元関係〉
西村七兵衛 殿
法蔵館代表取締役会長

山岸 忠雄 殿
開隆堂出版代表取締役社長

原野 圭司 殿
新興出版社啓林館代表取締役
会長

田中 健五 殿
文藝春秋代表取締役社長

和田 肇 殿
作品社代表取締役社長

岡崎 達 殿
弘文社代表取締役社長

松居 直 殿

福音館書店代表取締役社長

藤岡 俊夫 殿

祥伝社代表取締役社長

石井 昭男 殿

明石書店代表取締役社長

〈取次関係〉
大竹 深夫 殿

大阪屋栗田代表取締役社長

〈書店関係〉
田中 隆次 殿

田中書店代表取締役社長



献詞

日本書店商業組合連合会会長

矢幡 秀治

(やはた・ひではる)

「出版平和堂 第五十五回 出版
功労者顕彰会」の開催にあたり、
わが国の出版文化の礎を築き、
その発展、繁栄にご尽力された
諸先輩の御霊に、謹んで献詞を
捧げます。

出版平和堂は昭和四十四年、
出版関連団体の総意によって、
風光明媚な箱根・芦ノ湖を望む
この地に建立されました。以来、
毎年秋には多くの関係者が出版

文化の殿堂に集い、先達の功績
を讃え、業界の永続と隆盛を誓
うと共に、世界平和を祈願して
参りました。

本日新たに十一名の方々をお
迎えし、第一回より合わせて一
二・三三名の方々を顕彰いたしま
す。参会者一同、心から敬意と

感謝の意を捧げます。
さて、新型コロナウイルスの
感染拡大はようやく収まりつつ

ありますが、一方ではロシア・
ウクライナ戦争の長期化、世界
的猛暑など様々な危機が積み重
なり、私たちの暮らしが脅かさ
れています。さらにコロナ禍中
には、情報発信や娯楽のデジタ
ル化はますます進み、出版業界
への影響が懸念されます。

このように大きな困難に立ち
向かわねばならない時代は、今
を生きる私たちだけでなく、数

多の難局を乗り越えた先達の知
恵と勇気が必要です。これらの
力を結集し、出版文化を守り、
出版事業を通じて恒久平和の実
現に尽力し、未来を支える子ど
もたちに日本の文化を繋げてい
かなければなりません。

これからも私たちは言論・出
版・表現の自由そして相互理解
の心を胸に刻み、出版文化の躍
進に一層努力を重ねてまいりま
す。連綿と歴史を紡いでこれら
れ諸先輩方に献詞を捧げ、未来
への誓いいたします。

文霊（ふみたま）に
うつし世の平和のりつつ
道にはげみし
人をたたえむ



出版平和堂



問い合わせ：一般財団法人日本出版クラブ

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル 5F

TEL 03(5577)1771 <https://www.shuppan-heiwado.jp/>



感謝のことば

日本雑誌協会理事長 堀内 丸恵
(ほりうち・まるえ)

本日新たに十一名の方が出版
平和堂にその名を刻まれ、合
せて一三三名のご芳名が長く
後世に伝えられることになりま
した。出版文化と出版界の発展
のために、誠心誠意ご尽力され
たみなさま方に、心からの敬意
と感謝を申し上げます。

二〇二三年現在、新型コロナウイルス
ウィルス感染症が五類に移行し
行動制限が緩和されて、日常の
生活が戻ってきております。私
たちはパンデミックから多くの

ことを学び、新しいステージに
立った気がします。一方でCh
atGPTに代表される生成型
AIがあらゆる分野を席卷し、
世の中が大きく変わろうとして
います。加速度的に進化するテ
クノロジーの中で、大きな変革
を迫られ、私たちは改めて「人
間らしさ」を問われているのか
もしれません。

しかしながら、過去を振り返
って見た時に、いつの時代にも
出版界は幾多の困難に直面して
きました。そしてそのたびに、
先人たちは、知恵と努力で難局
を乗り越えて、社会の発展に貢
献してきたのだと思います。

現在の出版界は、海賊版対策、
物流問題、全国の書店支援と図
書館との共存共栄、読書環境の
推進など解決すべき課題が山積
しています。現実を冷静に見極
め、積極果敢に立ち向かってい
かなければなりません。

と変化に果敢に立ち向かい出版
文化を守り続けてきました。
われわれは意を決し、出版界
が一丸となり、先達が築かれた
礎をますます堅固なものにする
べく、誇りをもって、たゆみない
歩みを続けてまいりたいと存じ
ます。本日この箱根の地におい
て、ご家族・ご関係者ご列席の
中、十一名の方々が顕彰させて
いただくにあたり、「感謝のこ
とば」を捧げます。



献杯

日本出版取次協会副会長 奥村 景二
(おくむら・けいじ)

本日はご家族の方々、ご関係
者の皆さま、第55回出版功労者
顕彰会にご臨席賜りまして誠に
有難うございます。本日、新た
に十一名の方々が顕彰され、出
版平和堂にそのお名前が刻まれ
ました。日本の文化の発展にご

尽力された皆さま方のご功績
に、心から敬意と感謝を表しま
す。

出版界を取り巻く環境は年々
厳しさを増しております。先達
が切り拓き築かれたご功績の
下、我々が一致団結し、さらに

発展させることで、出版界の未
来を切り拓いていくことを誓い
ます。

それでは、ご家族、関係者の
皆さま並びに本日ご参集された
皆さまのご健勝を祈念して献杯
したいと思います。献杯。



出版記念会

喜びを分かち合える出版人のホールで
お祝いの会を。

★会報「出版クラブだより」にてご紹介して、
祝賀申し上げます。

●ご予約・お問合わせ 出版クラブホール



受賞祝賀会

受賞の栄誉に輝く喜びを祝賀する集い
に、出版クラブホールを。

★ご案内状の作成、印刷、宛名書き、贈呈記念品、花束など、
お手伝いのむきもお申しつけ下さい

Tel 03(5577)1511 千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル



閉会のことば

出版平和堂委員長 大坪 嘉春
(おおつば・よしはる)

本日は「出版平和堂 第五十五回 出版功労者顕彰会」にたくさんの方々にお越しいただき、このように盛大に開催できましたこと、厚く御礼を申し上げます。

昨年は土砂降りの雨のため、出版平和堂で式典をおこなうことができませんでした。今年は例年より三週間ほど遅れての開催となりましたが、おかげさまで、本日は穏やかな天気となり、木々も色づきはじめ、ちょうど良い時期だったのではないかと思います。

本日十一名の方々が顕彰され



進行役の吉野和浩・出版平和堂委員

たわけですが、いずれも同じ時期に仕事をさせていただき、私にとって思い出深い方々ばかりです。記銘板のお名前を見るだけでその方のお顔が目

ができ、向こう二十年は安心して出版功労者顕彰会を執りおこなえることと思います。



出版平和堂の周辺を眺めただくと、とても良く整備されていることにお気づきかと存じます。

名の方々の先達のおかげだと改めて感じました。先ほど式典が執りおこなわれました出版平和堂の記銘板をご覧になってお気づきかと存じますが、今夏、記銘板の設置スペースを一六〇名分増設する工事をおこないました。既存のものと合わせ、約二百名のスペース

採が必要となります。本日のように気持ちよく出版功労者顕彰会が開催できるのも、管理人である大澤亮さんによる手入れが行き届いていることに他なりません。

しかしながら、出版平和堂の維持・管理をおこなっていくためには資金が必要となってきます。その協力団体として出版平和堂維持会が存在しています。私の父も出版平和堂に顕彰されており、なかには三代、四代に亘って顕彰されている方もいらっしゃると思います。それぞれの思いがあるこの出版平和堂を維持・管理していくために、改めて出版平和堂維持会へのご協力をお願い申し上げます。



出版クラブ維持員動静

▽代表者変更(敬称略)
あかつき教育図書 坂本純一
東谷典尚

家の光協会 河地尚之 木下春雄

NHK出版 土井成紀 松本浩司

音楽之友社 堀内久美雄 時枝正

協和出版販売 貝沼保則 川島桂

暮しの手帖社 阪東宗文 横山泰子

芸術生活社 石井裕 正井一真
東京化学同人 住田六連 石田勝彦

日本ジャーナル出版 市川愼次郎 中山二郎

農山漁村文化協会 豊島至 留場俊明

▽住所変更
鹿島出版会 〒104-0061 東京都中央区銀座6-17-11 銀座6丁目1-SQUARE7F

TEL 03 (62664) 2301

FAX 03 (62664) 2303

JTB パブリッシング 〒135-10061 東京都江東区豊洲5-1-6

36 豊洲プライムスクエア11F
TEL 03 (62119) 9200

第一学習社 (東京支社) 〒113-0021 東京都文京区本駒込5-16-7

TEL 03 (5834) 2530

FAX 03 (5842) 1076

2023年度出版平和堂維持会にご協賛いただいた方々
(2023年10月31日現在) (敬称略・順不同)

〔法人〕

- 愛知県教科用図書卸商業協同組合
あかね書房
秋田書店
朝倉書店
旭屋出版
家の光協会
医学書院
石川県教科書販売所
医歯薬出版
井上書院
岩崎書店
岩波書店
内田老鶴圃
芸艸堂
大阪教科書
オーム社
沖繩教販
落合書店
音楽之友社
偕成社
海文堂出版
学事出版
風間書房
鹿島出版会
学研ホールディングス
学校図書
神奈川県教科書販売
教育芸術社
教育出版
共同印刷
共立出版
杏林書院
金星堂
金の星社
研究社
建帛社

- 光生館
恒星社厚生閣
佼成出版社
講談社
弘文社
光文社
弘文堂
小峰書店
コロナ社
三省堂
三省堂書店
実教出版
信濃屋書店
清水書院
集英社
主婦と生活社
主婦の友社
春陽堂書店
小学館
裳華房
彰国社
祥伝社
少年画報社
新興出版社啓林館
新生紙パルプ商事
新潮社
新文化通信社
星雲社
青春出版社
成美堂
誠文堂新光社
青林書院
世界思想社教学社
世界文化ホールディングス
創元社
増進堂・受験研究社
第一学習社

- 大修館書店
大日本図書
辰巳出版
淡交社
筑摩書房
千倉書房
地人書館
地方・小出版流通センター
中央経済社ホールディングス
築地書館
帝国書院
電気書院
東京書籍
東京大学出版会
東京堂
東京都東部教科書供給
童心社
同文館出版
トーハン
読書人
徳間書店
図書印刷
図書館流通センター
戸田書店
栃木県教科書供給所
中山書店
南江堂
二玄社
西村書店
日外アソシエーツ
仁木書店
日本医事新報社
日本ヴォーグ社
日本加除出版
日本実業出版社
日本出版販売
日本スポーツ企画出版社
日本図書普及
日本文教出版
白水社
白桃書房
博文館新社

- ひかりのくに
平井書店
福岡県教科図書
福岡県書店商業組合
富士経済グループ本社
文英堂
文藝春秋
文理
平凡社
ベースボール・マガジン社
豊川堂
北隆館
ポプラ社
マガジンハウス
三重県教科書特約供給所
光村図書出版
ミネルヴァ書房
宮城県書店商業組合
明治書院
八重洲出版
山川出版社
有斐閣
有隣堂
養賢堂
吉川弘文館
楽天ブックスネットワーク
リイド社
黎明書房

(以上143社)

- 大坪嘉春
岡田婦美子
奥川 隆
岡原秀登
小田嶋 仁
小保方恒雄
角田久子
川端重夫
北川恵子
國枝英明
國元みどり
小鷹勝子
小宮山うき枝
近藤博子
坂本嘉廣
清水雄介
志村孚城
白井朋子
白浜基久子
角屋隆之
高木祐治
高岸常治
寺澤妙子
鳥居成元
中川廣一
中平千晴
南條正晴
南條光章
西山 妙
日橋明子
廣川知志
廣瀬 真
古岡文字
堀江弥生
前田君子
増田恒子
松浦理恵
松坂能江
村山久子
山口紀子
横山 隆

小さな本の展覧会 17

「男らしさ」「女らしさ」から自由になるための言葉 ～ジェンダーを知るはじめての一步～

一般公募による26冊をベースにBACH 幅允孝氏による選書も加え、ジェンダーを
考えるヒントとなる、「はじめての一步」となるような本を100冊程度展示します。

9

お薦めする本
「電車の窓に映った自分が
死んだ父に見えた日、
スキンケアをはじめました。」
伊藤聡 著

5

お薦めする本
「ぼくには数字が
風景に見える」
ダニエル・ラメット 著 志摩浩貴 訳

1

お薦めする本
「おおきな木」
シェル・シルヴァスタイン 著
村上春樹 訳

10

お薦めする本
「ニュータウンは
黄昏れて」
垣谷美雨 著

6

お薦めする本
「日本のフェミニズム」
北原水乃り 著

2

お薦めする本
「ツバメ号の伝書バト」
アーサー・ランサム 著 神宮輝夫 訳

11

お薦めする本
「恐怖の館」
世にも不思議な物語
レオノーラ・キャリントン 著 野中頼代 訳

7

お薦めする本
「私の中の男の子」
山崎ナオコ 著

3

お薦めする本
「赤毛のアン」
ルーシー・モード・モンゴメリ 著
松本信子 訳

12

お薦めする本
「吉祥天女」
吉田秋生 著

8

お薦めする本
「働き方の男女不平等」
山口一男 著 理論と実践分析

4

お薦めする本
「羊の少年」
...

23

開催者 常塚 凡子
お薦めする本
「ピッチな動物たち」
ルーシー・クック 著 小林玲子 訳

18

開催者 飯松 麻奈
お薦めする本
「侍女の物語」
マーガレット・アトウッド 著 高橋英治 訳

13

開催者 喜入 冬子
お薦めする本
「セキララ結婚生活」
けらえいこ 著

24

開催者 一般社団法人 松岡 真嗣
お薦めする本
「LGBTを読みとく」
—クィア・スタディーズ入門—
松山 聖貴 著

19

開催者 進藤 崇
お薦めする本
「ヘルサイユのぼり」
加藤 純子 著

14

開催者 ノンデザイナー 神谷 達生
お薦めする本
「ディアガール おんなのこ」
エイミー・クラウス・ローゼンタール 著
パリス・ローゼンタール 著 高橋久美子 訳

25

開催者 小説家 山内 マリコ
お薦めする本
「女ざらい ニッポンのミソジニー」
上野千鶴子 著

20

開催者 佐佐木 利子 新聞
お薦めする本
「一の糸」有吉 和子 著

15

開催者 フォトリポーター ひょうどう まさこ
お薦めする本
「存在しない女たち」
男性偏見の世界にむき出しのファクトを暴く
キャロライン・クリアド＝ベレス 著
神崎 朗子 訳

26

開催者 小説家 神保 純子
お薦めする本
「汝、星のごとく」
風良 ゆう 著

21

開催者 モックテ 隆夫 unagi
お薦めする本
「しろろの街の、その骨の体温の」
村田 沙耶香 著

16

開催者 コムケ 文隆 著 畑中 原子
お薦めする本
「さよなら、男社会」
尹 雄大 著

22

開催者 作家 坂本 龍一
お薦めする本
「女の子がいる場所」
坂本 龍一 著

17

開催者 小説家 石野 可憐
お薦めする本
「マッカーレス短篇集」
カーゾン・マッカーレス 著
ハーン 小結 美子 編訳 西田 実子 訳

POPデザイン: 重実生哉 氏
会期: 2023.11.1(水)~30(木)
<OPEN 10:00~18:00>
*土・日・祝日は休館
会場: 出版クラブビル3F
ライブラリー(神保町)
*入場無料

出版 歳時記

▽仕事柄、官僚の文字通りの官僚主義に接し、じれったい思いをし

「お役所仕事」は「広辞苑」に「形式主義で非能率的な官僚の仕事ぶりを皮肉つていう語」とある通り、ほめ言葉ではない。ところが、そんな見方が一変した。公正取引委員会が9月に発表した「ニュースコンテンツ配信分野に関する実態調査報告書」は、公正で自由な競争を通じて経済発展をめざす役所のすばらしい仕事である。

▽みなさんの出版社が送り出す記事はいまや、自社のインターネットサイトより「ヤフーニュース」や「LINEニュース」「スマートニュース」「グーグルの「ニュースショーケース」など「IT大手のポータルサイト」(プラットフォーム)で、より多く読まれている。「ヤフーニュース」の閲覧数は月間200億ペー

「文春オンライン」でさえ、自社サイトでの閲覧数は月間5億PV弱(日本ABC協会「Web指標」一覽2023年4〜6月)。この力関係にメスを入れたのが公取だ。

▽報告書によれば、記事を提供する出版、新聞、放送のメディア各社にIT大手(ポータル事業者)から支払われているお金は、記事1千PVあたり平均124円で、各社の自社サイトの広告収入(1千PVあたり平均

公正で自由な競争のために

352円)に比べ、3分の1にすぎない。これは優越的地位の濫用の可能性があり、メディア側が共同で値上げ交渉しても独占禁止法が禁じるカルテルには当たらないとの見方を示している。▽同じ記事を検索しても、オリジナルの出版社や雑誌のサイトより、二次利用のポータルサイトのほうが上位にくるのを大変だと感じたことはないだろうか。IT大手による「インターネット

ト検索結果における自社優遇」や「検索アルゴリズムの不透明性」も、報告書は旭上

に載せた。▽公取がここまで踏み込んだことに驚き、その意図を考えながら、別紙も含めて253ページもある文書を読み進めると、「ニュースコンテンツが消費者に適切に提供されることは、民主主義の発展において不可欠」と明快な書きぶりだった。まさにその通り。役所の文書を読んで感動したのは初めてだ。

▽公取に後押しされたからには、我ら出版業界は各社の利害を超えて立ち上がらねばなるまい。つい、黒澤明「七人の侍」で、取奪から身を守るため一緒に戦う決意をする農民の気分になってしまった。ヤフーも報告書を受けて「より一層の透明性の向上」「パートナーとの共存共栄」を図る考えを表明した。日本出版クラブも日本雑誌協会も日本書籍出版協会も、民主社会と出版業界の発展のため、団結ガンバロー!

編集雑記

☆9月、10月と、暑い秋が続きました。この調子で異常気象が続くと秋がなくなりそうです。☆9月で今年度の上半期が終了。5月に新型コロナ

ナウイルス感染症が「5類」になりました。ホール、会議室のご利用が増えました。会館収入が改善したため、経常損益が若干ではあります。が黒字を確保することができました。みなさまご利用ありがとうございます。

☆大谷選手がメジャーでホームラン王になり、男子ではバスケットボール、バレーボール、ハンドボールと次々に自力でのオリンピック出場を決め、スポーツの秋は盛り上がりました。

☆秋と言えは、読書の秋。キャンペーン「本との新しい出会い」はじまる。BOOK MEETS NEXT」が始まっています。出版業界一丸となって盛り上げてい

☆来年は正月明け早々に6日から3連休になります。そのため恒例の新年名刺交換会は1月9日(火)12時30分から開くことになりました。みなさまぜひご参加ください。

☆この11月で神保町でのリニューアルオープンから5年になります。よりいっそう使いやすいうらぶを目標として、サービスの向上に努めてまいります。みなさまのご利用をお待ちしております。

出版クラブは皆さまの「クラブ」です。
お気軽にご利用頂ければと存じます。
出版イベントや各種会議・セミナー等
益々のご利用をお待ち申し上げます。

出版クラブホール・会議室 PUBLISHERS CLUB HALL

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32
出版クラブビル
TEL 03-5577-1511/FAX 03-5577-1772
<https://shuppan-club-hall.jp/>
神保町駅(東京メトロ半蔵門線、都営新宿線・三田線)
A5 出口より徒歩2分

